Osaka University Knowledge Archive

Title	阪大法学 52巻 3,4号 目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2002, 52(3,4)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55009
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

目次

巻頭の辞……多胡圭一
行政改革の中における土地収用法改正と収用委員会……村上武則……7
戦略攻撃力削減条約の内容と意義……黒澤満……27
アメリカ都市部における学校改革の政治学……河田潤一……59
——「市民能力と都市教育プロジェクト」の紹介を中心として——
社外監査役および社外取締役の社外性の意義と機能……吉本健一……77
日米裁判管轄法理の比較枠組み……野村美明……99
派遣期間の制限に関する覚書……小嶌典明……123
——いわゆる三年の期間制限とは何か——
生殖医療・生命倫理・親子法……床谷文雄……149
——スイス法を手がかりとして——

無効・取消の要件・効果の一般的枠組……平田健治……177
——ヨーロッパ私法法律家アカデミー・ヨーロッパ契約法草案を参考に——
ドイツにおける原発廃止の法律問題……松本和彦……211
外国保険会社規制の目的と海外直接付保規制……木下孝治……239
法情報の知識表現……田中規久雄……259
——法知識データベースとデータモデル——
EUの「科学」に関する諮問体制……戸澤英典……285
——BSEとECHELONのケースを中心に——
鉄道事故とネグリジェンス責任の形成……河野良継……317
間接保有された有価証券の権利関係の準拠法……北坂尚洋……351
——二〇〇二年EU指令、UCC及びハーグ条約草案のアプローチについて——
土地台帳・土地共有者台帳の性格と機能……山中永之佑……377
——大阪府丹南郡池尻村へど池池敷・堤塘の所有権をめぐって——
ハーグ新条約案とフォーラム・ノン・コンビニエンス……岡野祐子……415

日本の職場におけるセクシュアル・ハラスメント対策……吉川英一郎……435
——米国事業主の「合理的配慮」の努力を参考にして——
国際開発契約と国際私法……髙杉直……459
——安定化条項の有効性と非国家法の準拠法適格性——
法の解釈・適用方法における「結果指向（Folgenorientierung）」をめぐって……山口聡……487
法律相談における弁護士役割論再考……上石圭一……511
国際民事証拠共助法の最近の展開……多田望……533
登記業務を巡る弁護士・司法書士・行政書士の職域分配……西島太一……553
——沿革論を中心に——
域外的な文書提出命令と主権侵害……田中美穂……593
——アメリカ、ドイツにおける理解に着目して——
田中茂樹教授　略歴・著作目録……618
松岡博教授　略歴・著作目録……623